

# 良型キンメを多点掛け!! これぞ南伊豆のポテンシャル



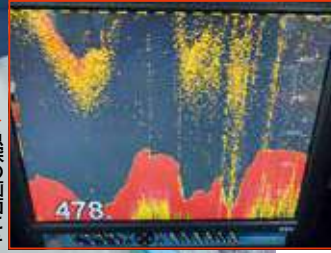
◀船長の合図でミヨシから順番に投入する



▲ハリ数は20本までで鉄筋オモリ2キロを使用



●タックルは深海専用竿とPE12号を1000メートル以上巻ける大型電動リールの組み合わせ



▶魚探の画面にキンメとおぼしき反応がビッシリ

●新島沖のキンメは1~2キロ級が当たり前に釣れるサイズのよさが大きな魅力



▶投入回数は一日8投が目安



▲1キロ級の8点掛け



●深海釣りのエキスパート・本誌APCの椎名さんが2キロオーバーをキャッチ



●釣れたサハの切り身は最高の特工



●取り込みは、手が空いている人が魚の下にタキを添えてサボートしよう



●1キロの以上のキンメは脂の乗りも格別

南伊豆発で新島沖を狙うキンメ乗合が好調だ。  
今春はシケが多く出船できる日が限られたが、ナギと潮具合さえよければ新島沖ならではの釣果が期待できる。下田須崎港の八倉丸を取材した3月下旬も条件がよく、最高8点掛けを交えてトップ23枚。サイズも1~2キロ級の良型がそろっ好日となった。  
水深400~500メートル前後の深海を狙うため相応のタックルが必要だが、ほとんどの船宿で乗船料に貸し道具、仕

●南伊豆下田須崎港・八倉丸  
山本 浩史船長

掛け、エサ代が含まれるオールレンタルプランが用意されている。これから梅雨にかけては海況の穏やかな日が多くなるから、ビギナーも臆することなく挑戦してほしい。  
(詳細は56ページ参照)

●当日の新島沖は驚くほど穏やかなナギ日和。水深450メートル付近を中心に狙った

